

令和2年度「生徒・保護者共通アンケート」集計結果

令和3年2月1日

宮城県仙台第一高等学校

1 実施期間 令和2年11月10日(火)から令和2年11月16日(月)

2 回答人数及び回答率

	教職員	保護者	生徒全体
回答数	57	638	857
回答率	98%	67%	90%

3 調査内容(14項目)

下の(1)～(14)の項目について「そう思う」、「大体そう思う」、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の4段階で回答。

- (1)学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業が行われている（学習指導）
- (2)挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている（生徒指導）
- (3)進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている（進路指導）
- (4)教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている（教育相談）
- (5)部活動は活発に行われている（部活動）
- (6)生徒会活動は活発に行われている（生徒会活動）
- (7)有意義な学校行事がある（学校行事）
- (8)地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる（特色ある学校づくり）
- (9)災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている（防災教育）
- (10)学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている（開かれた学校づくり）
- (11)校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている（施設設備）
- (12)学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる（いじめ対応）
- (13)学校生活は充実している（総合満足度）
- (14)生徒にとって、課題発見・解決能力や論理的思考力を伸ばすような SSH 活動が行われている（SSH）

4 調査結果（データ）

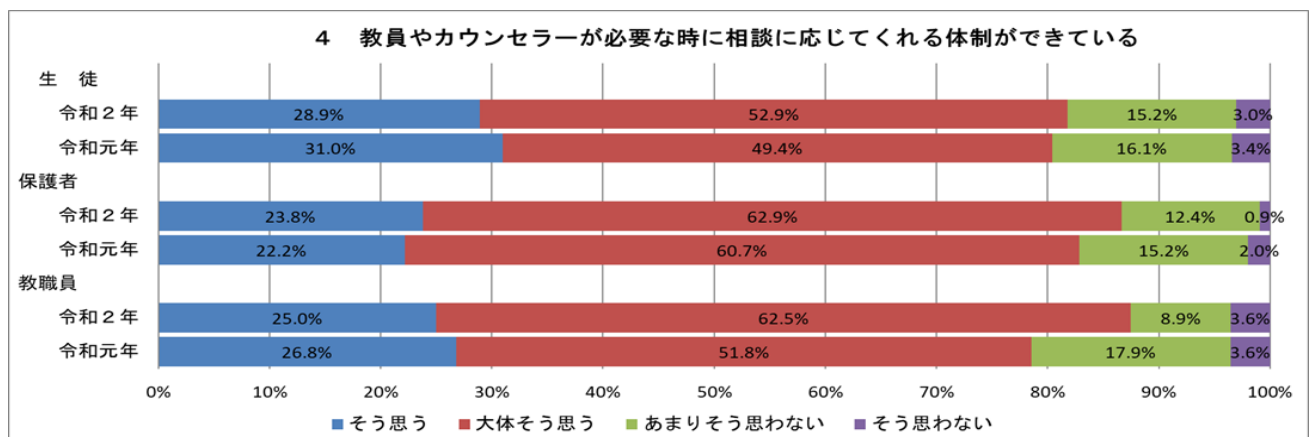
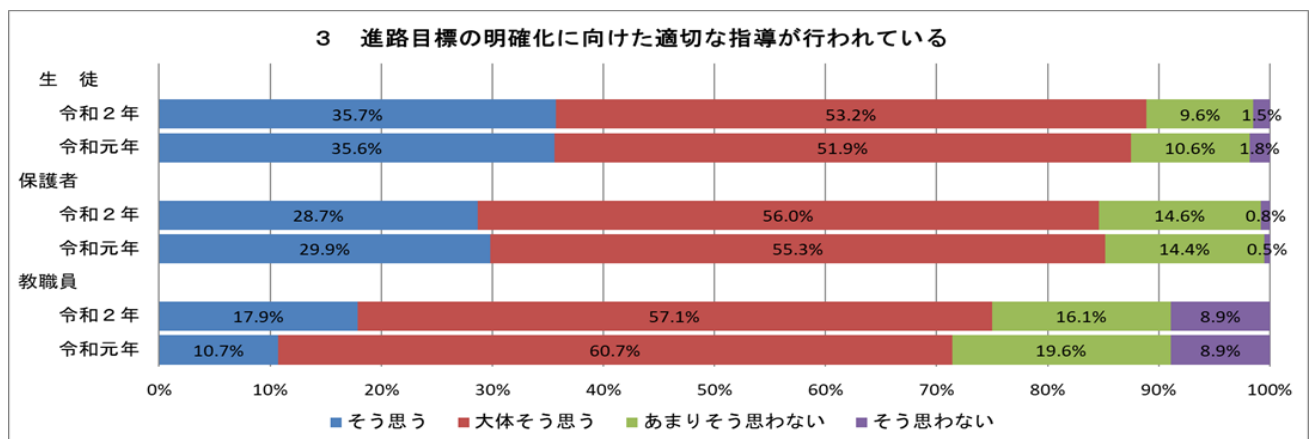
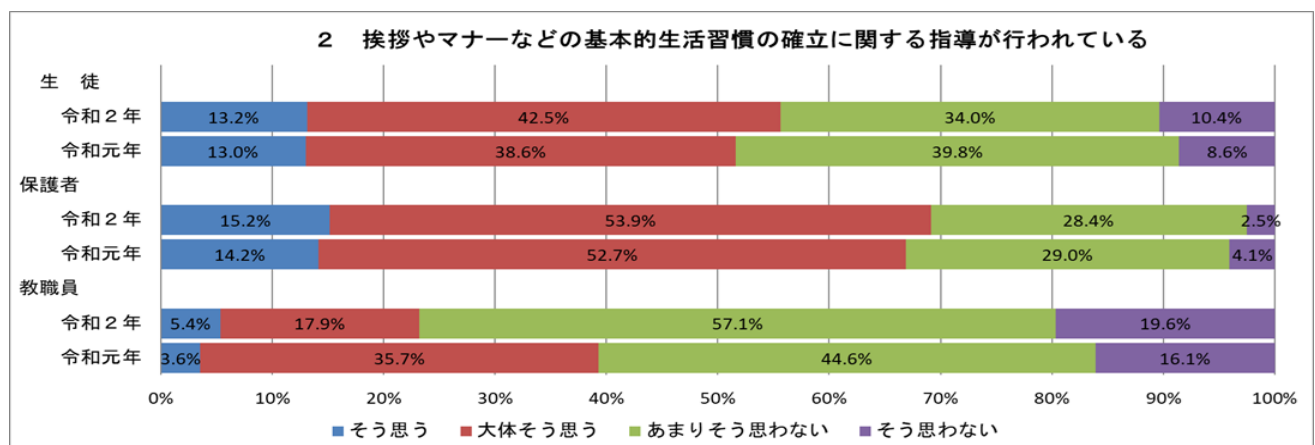
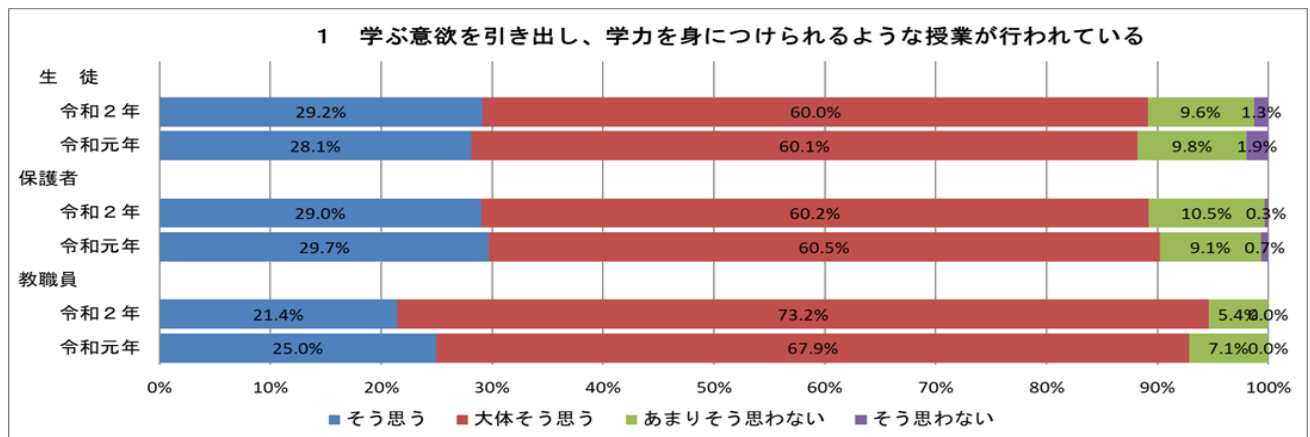
調査項目ごとの肯定的な回答（「そう思う」または「大体そう思う」）の割合、順位、前年度比較の増減値をまとめたもの。

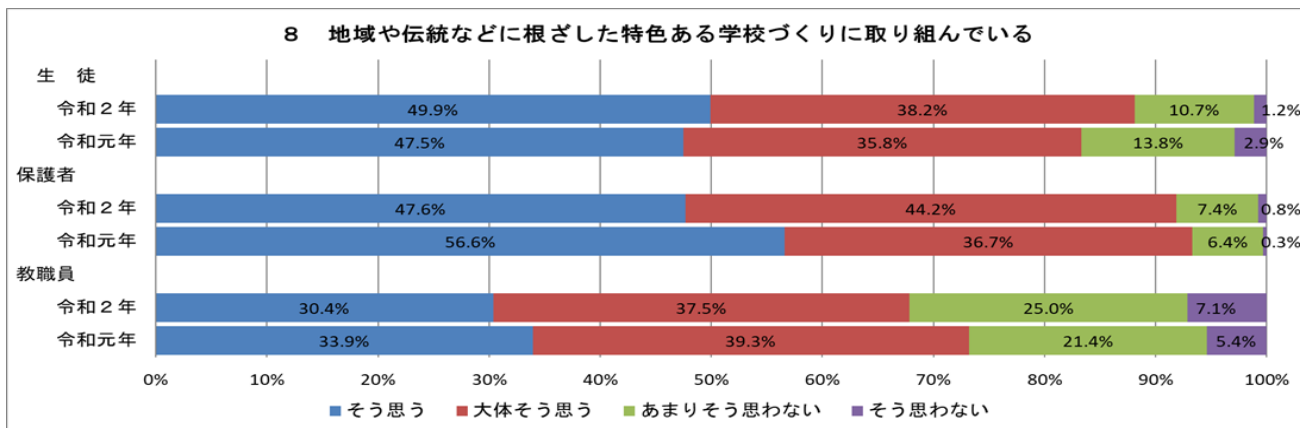
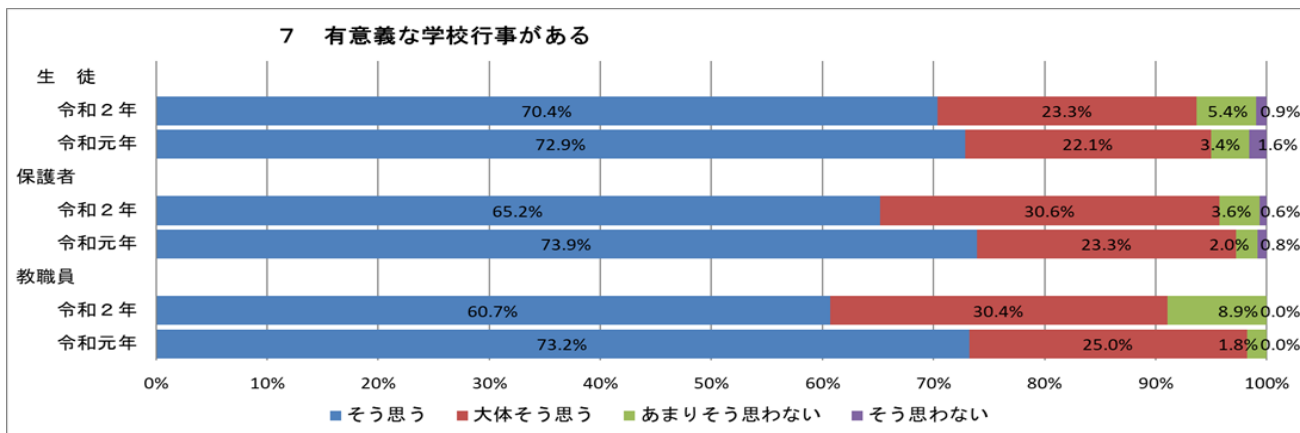
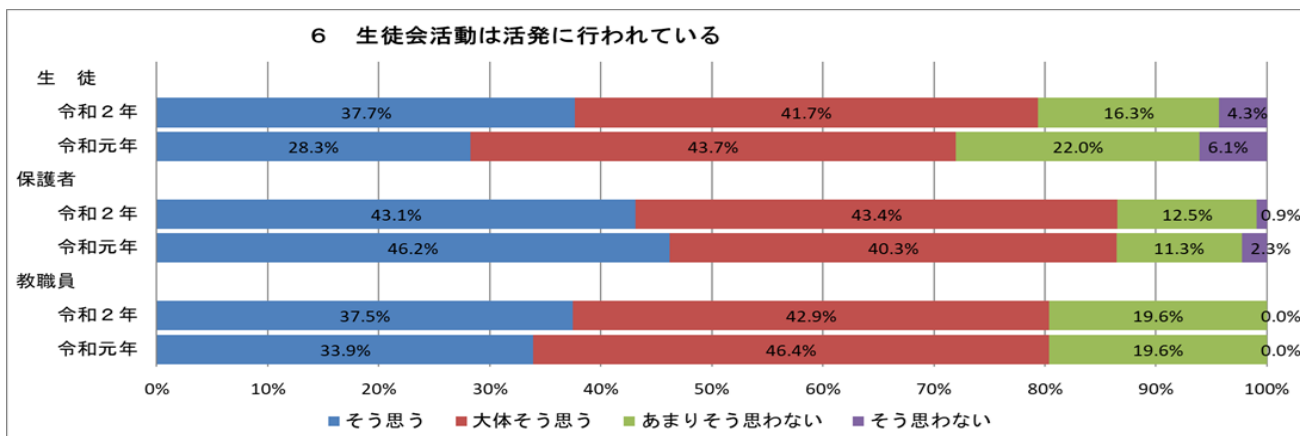
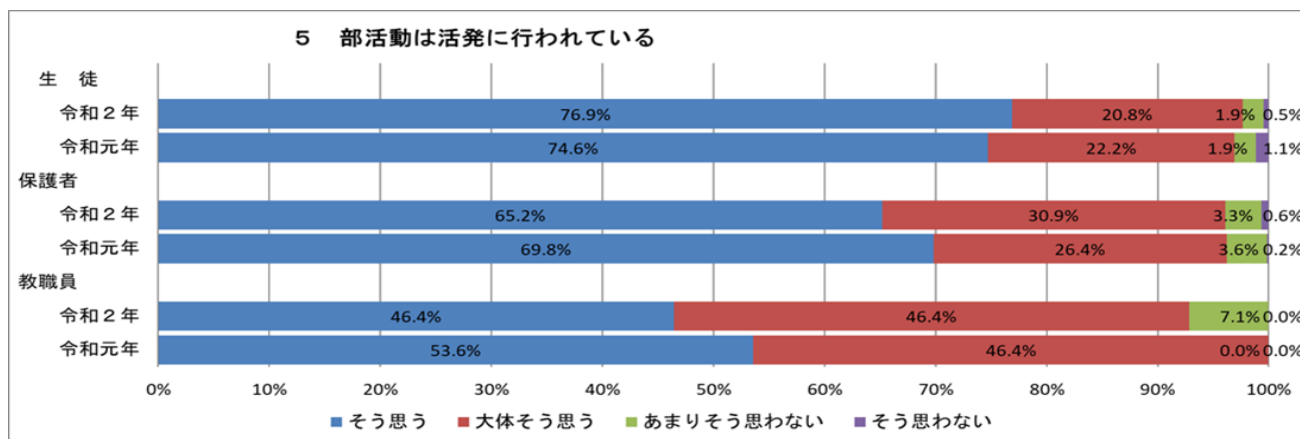
調査項目	生徒全体	順位	前年比増減	保護者	順位	前年比増減	教職員	順位	前年比増減
(1) 学習指導	89.1%	4	0.9ポイント	89.2%	6	-1ポイント	94.6%	1	1.8ポイント
(2) 生徒指導	55.7%	14	4.1ポイント	69.1%	13	2.2ポイント	23.2%	14	-16.1ポイント
(3) 進路指導	88.9%	5	1.4ポイント	84.6%	10	-0.5ポイント	75.0%	9	3.6ポイント
(4) 教育相談	81.8%	9	1.4ポイント	86.7%	7	3.8ポイント	87.5%	5	8.9ポイント
(5) 部活動	97.7%	1	0.9ポイント	96.1%	1	-0.2ポイント	92.9%	2	-7.1ポイント
(6) 生徒会活動	79.3%	11	7.4ポイント	86.5%	8	0.1ポイント	80.4%	6	0ポイント
(7) 学校行事	93.7%	2	-1.3ポイント	95.8%	2	-1.5ポイント	91.1%	4	-7.1ポイント
(8) 特色ある学校づくり	88.1%	6	4.8ポイント	91.8%	5	-1.5ポイント	67.9%	11	-5.4ポイント
(9) 防災教育	73.5%	13	-3.3ポイント	72.9%	12	-1.7ポイント	78.6%	8	0ポイント
(10) 開かれた学校づくり	86.1%	7	1.1ポイント	85.4%	9	1.4ポイント	64.3%	12	5.4ポイント
(11) 施設設備	80.5%	10	1.8ポイント	78.4%	11	-5.3ポイント	37.5%	13	-8.9ポイント
(12) いじめ対応	75.0%	12	4.1ポイント	61.3%	14	2.9ポイント	80.4%	6	-3.6ポイント
(13) 総合満足度	92.5%	3	-1.2ポイント	92.3%	3	-3.8ポイント	91.1%	3	1.8ポイント
(14) SSHについて	83.2%	8	-8.6ポイント	92.0%	4	0.2ポイント	69.6%	10	-1.8ポイント

5 調査結果（コメント）

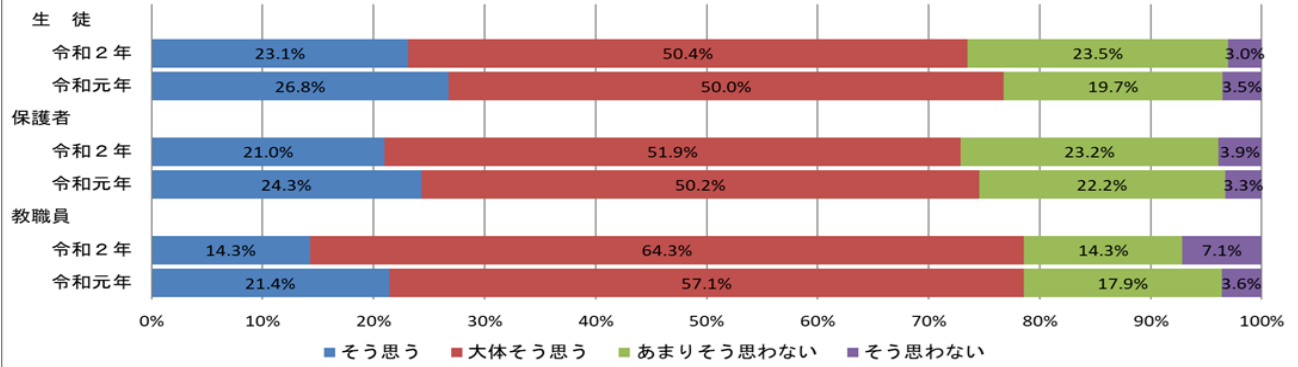
- 今年度の回答率は、生徒はほぼ昨年と同様90%、保護者、教員は昨年より3ポイント増加の67%、98%であった。
- 肯定的回答の割合が高い項目に、「(5)部活動は活発に行われている（部活動）」「(7)有意義な学校行事がある（学校行事）」「(1)学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような学習が行われている（学習指導）」があり、それに伴い「(13)学校生活は充実している（総合満足度）」も90%を超える数値となっている。この傾向は、例年と同様である。
- 肯定的回答の割合が低い項目に、「(2)挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている（生徒指導）」があり、例年と同様の結果となっている。自由記述の中にも、「自主性と放任の違いは」等の指摘も見られた。教員の肯定的回答の割合が16ポイント低下しており、生徒の自主性を今後も大切にすることはもちろんではあるが、基本的生活習慣の確立についてはマナー指導等が求められている状況を共有し、今後、具体的な対応を検討していきたい。
- 昨年比で肯定的回答の割合が3ポイント以上高まった項目は、生徒では「(6)生徒会活動」「(8)特色ある学校づくり」「(2)生徒指導」「(12)いじめ対応」の4つ、保護者は「(4)教育相談」の1つ、教員は「(4)教育相談」「(10)開かれた学校づくり」「(3)進路指導」の3つである。このうち「(4)教育相談」については、近年の学校教育においてガイダンス機能と両輪をなすカウンセリング機能の充実が求められているところであり、今後も引き続き充実を図っていきたい。
- 昨年比で肯定的回答の割合が3ポイント以上低くなった項目は、生徒では「(14)SSH」「(9)防災教育」の2つ、保護者は「(11)施設設備」「(13)総合満足度」の2つ、教員は「(2)生徒指導」「(11)施設設備」「(5)部活動」「(7)学校行事」「(8)特色ある学校づくり」「(12)いじめ対応」の6つである。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、臨時休業中のICT活用、例年と異なる形態での部活動や学校行事の実施、校外研修や海外研修、硬式野球定期戦など中止せざるを得なかった行事など、「やりたくてもできなかった」との思いが数値となって表れたと考えられる。
- 保護者の自由記述回答数は、1年生が31名、2年生が29名、3年生が15名であった。
- 「子どもたちはとても充実した一高生活を送っている」「コロナ禍でも生徒の自主性を大切にした教育活動の支援に感謝」など肯定的な意見が多くあり、今後の励みとしていきたい。
- 一方で、エアコン等の施設充実を求める意見、ホームページの充実を求める意見、感染症対策のさらなる徹底を求める意見など、改善を求める意見があり、今後、対応を検討していきたい。なお、エアコンについては、来年度、普通教室への設置が予定されている。

6 調査結果（グラフ）

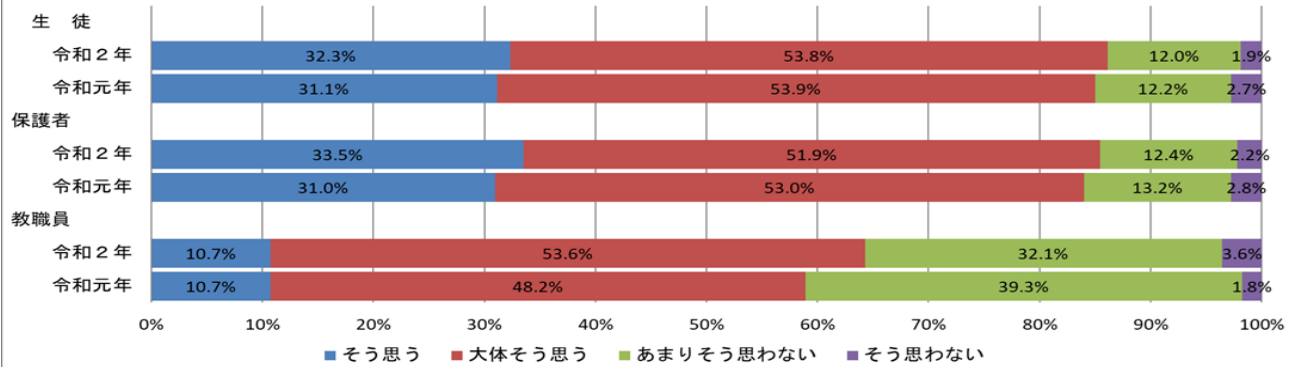




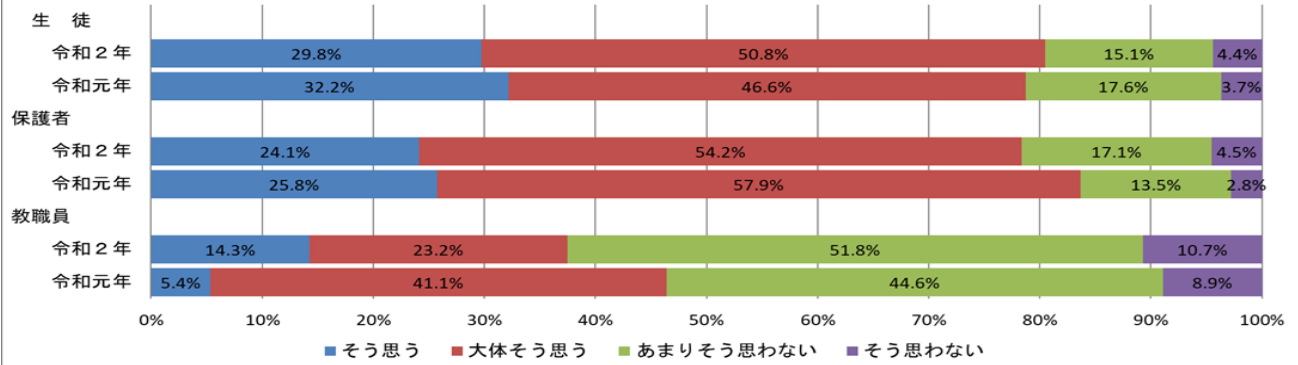
9 災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている



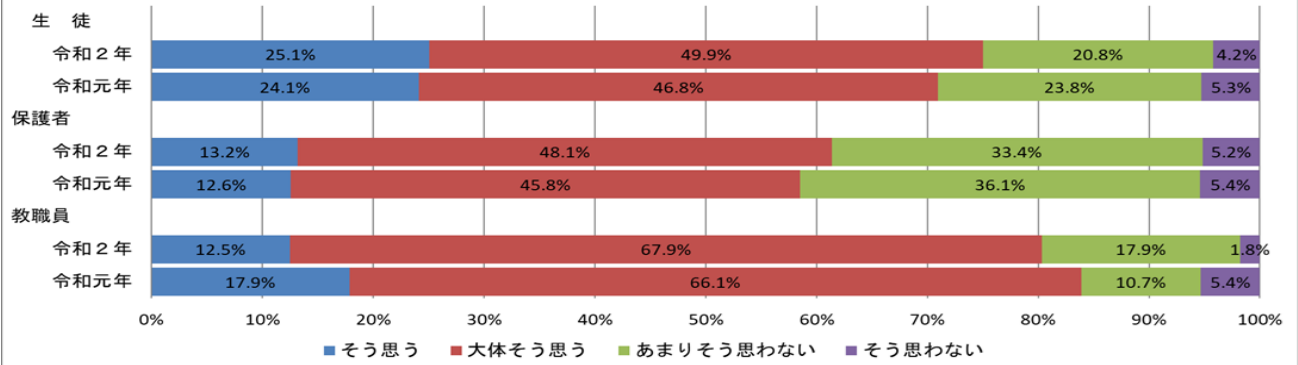
10 学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている



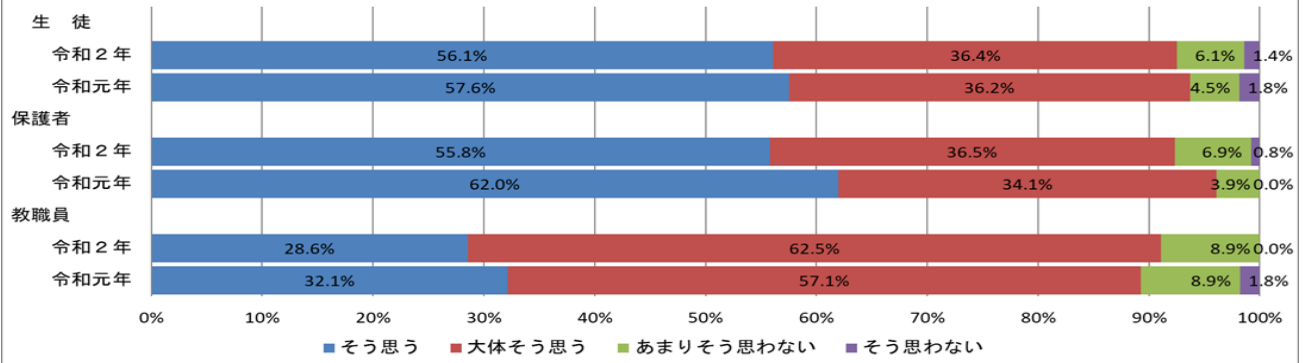
11 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている



12 学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる



1 3 学校生活は充実している



1 4 生徒にとって、課題発見・解決能力や論理的思考力を伸ばすようなSSH活動が行われている

